

蕨 広報WARABI

12

2014/平成26年
わらび・763

- 平成26年12月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 11月1日現在人口：72,305人 前月比 -16人
男 36,707人 女 35,598人
世帯数：36,000
人口密度：14,177人/km²

ベルトよし！
ヘルメットよし！
ママも私も安心だね



～今月の特集～

- 自転車の安全利用を考える
- 地域の宝で愛される1本を

わ
WARABI

特集：自転車の安全利用を考える

私たちのまちから ゼロにする



「ひやっとする場面」を体験し、交通安全意識を高める「スクエアード・ストレイト教育技法」による教室(10月20日・第二中学校)

被害者やその家族を苦痛と深い悲しみに突き落とす交通事故。1件でもなくそうと私たちのまちでは地域が一体となった取り組みを進め、近年、減少傾向にあります。しかし一方で「自転車事故の割合が高い」という課題が浮き彫りになっています。

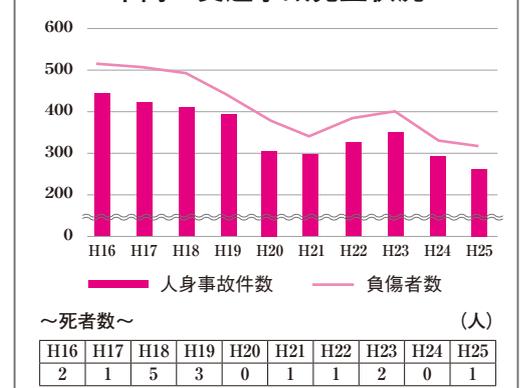
今月の特集は「自転車の安全利用を考える」。2ページから9ページまでにわたって、皆さんといっしょにこのテーマについて考えてみたいと思います。

ほんの一瞬の出来事で、けがを負い、最悪の場合には尊い命までもが奪われる交通事故。警察庁によると、平成25年中の交通事故の死者数は全国で4373人、交通事故の発生件数は62万9021件、負傷者数は78万1494人となっています。統計的には減少傾向にあるものの、わが国の交通事故の情勢は依然として厳しい状況にあります。

では、私たちのまち、蔵はどうなっているのでしょうか。ここ10年間(16年～25年)の交通事故の発生状況は右囲みのとおりです。16年に437件あった人身事故は、25年には262件、また、負傷者

**地域ぐるみの活動が結実し
市内の事故が全体的に減少**

市内の交通事故発生状況





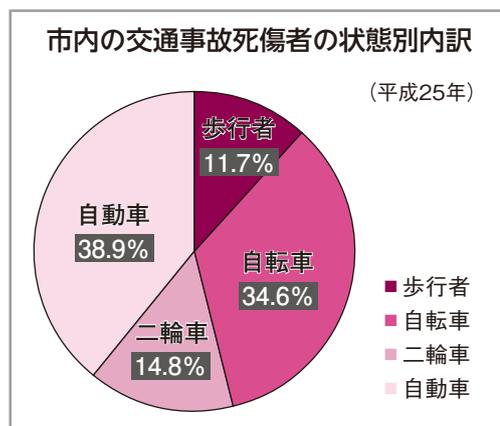
元気に挨拶を交わしながら、児童の安全な登校を見守る保護者(中山道本町通り)

の発生率が高い朝の時間帯。子どもたちの安全を守るため、通学時に交通安全指導員や保護者などによる見守り活動が行われています。また、児童や園児に正しい交通ルールやマナーを学ん

も16年の514人(ほか死者2人)から25年には323人(同1人)と市内の事故は全体的に減少傾向にあります。26年も10月末現在で人身事故は184件、負傷者は204人(同0人)と、いずれも前年同時期に比べて減少しています。こうした結果はドライバーの皆さんが安全運転を心がけていることはもちろん、数十年来にわたり、市民の皆さんや交通関係団体、警察、行政が一体となり進めてきた取り組みの成果といえるでしょう。

豊かなコミュニティで推進 市内における交通安全対策

でもらおうと、模擬信号と横断歩道を使って開かれる交通安全教室では、蕨市交通安全母の会や交通安全指導員などが優しく指導に当たっています。そのほか、高齢者クラブや町会などでは、高齢者が事故の被害者にも加害者にもなりやすいという実状を踏まえ、勉強会を開いて意識を高めています。一方、市では5年ごとに策定する「蕨市交通安全計画」に基づき、道路交通環境の整備や交通安全教育の推進など、さまざまな施策を進めてきたほか、18年には市民の皆さんと事業者、行政の各々の果たすべき役割を明確にした県内初となる「交通安全条例」を制定し、地域と一体となって取り組む姿勢をより鮮明に打ち出しました。こうして、日頃から地域ぐるみ



景には、蕨は市域面積が小さく、高低差が少ないことなどの環境から、自転車を使いやすく、多くの皆さんが通勤や通学

左上円グラフにあるように、25年の市内の交通事故死傷者のうち、34.6%が自転車に関する事故という結果となっています。これは、県内自治体の中でも割合が高いほうから3番目という状況です。

まちの課題は自転車の事故 事故割合が県内ワースト3

買った物などで利用していることが考えられます。また、これは全国的に共通している課題ですが、自転車の乗車には免許が不要なため、交通ルールやマナーが自動車ほど徹底されていないことも一因として挙げられるでしょう。そのような状況のなか、市でも、現行の交通安全計画で重点課題として掲げ、スタントマンによる交通安全教室を実施したり、自転車歩行者道を整備したりと取り組みを進めています。大幅な改善には至っていません。それではどうしたら自転車の事故を減らすことができるのでしょうか。4、5歳では事故の発生状況や原因などを踏まえ、「安全な利用法」を見つめ直したいと思います。

で交通安全に取り組み、一定の成果を上げてきました。依然として交通事故がゼロにはありません。更には、ある乗り物に関する事故が課題として明らかになっています。それが「自転車の事故」です。

更なる啓発を進めて 交通ルールの徹底を

蕨警察署交通課
こぼし かつのり
小林 勝則 課長



市内の人身事故件数、負傷者数とも減少しているのは、道路利用者の意識の向上が一因と考えています。併せて、交通関係団体や行政、警察が連携した学校での交通安全教育や道路環境の整備、そして現場指導の地道な活動も挙げられます。ただし首都圏に位置する蕨では、自転車を利用する生活が浸透しているほか、人口密度が高いなどの背景から自転車事故の割合が高くなっています。今後の課題として、利用者の更なるルールの遵守が重要になるとともに、行政、警察が役割を果たしつつ連携の強化を図ることと住民主体の事故抑止活動の更なる展開も必要です。



前方不注意

身近な自転車を

どう安全に使うか

どのような状況で自転車の事故が市内で起きているのか。現状を確認するとともに、日頃から、地域で交通安全活動に取り組み皆さんの意見を踏まえて考えてみたいと思います。

交差点と生活道路が要注意

昨年内で発生した自転車事故は111件(負傷者112人)で、その7割以上が交差点で起き、多くが車との接触でした。主な原因は「安全不確認」、「一時不停止」となっています。また、塚越小学校で児童に自転車乗車に関するアンケートを行ったところ、交差点へ安全確認を怠って進入し、危ない思いをしたという回答が複数あり、交差点での出会いがしらの危険が潜んでいることがうかがえます。



塚越小で行ったアンケートの回答

一方、道路別では事故の多くが身近な生活道路(市道)で起きています。この状況に蕨警察署こぼろ小林交通課長(3階)は、「いつも通っているという油断から注意力が低下し、事故になるケースがあるようです」

と分析します。こうしたことから、自らの身を守るにはどんな状況でも標識を守り、安全確認をすることが必要です。なお、年齢別では高齢者が約2割、子どもと若者(24歳以下)が約3割となりました。ほかにも市内に限ったことではありませんが、スマートフォンを操作しながらの運転や傘をさしながらの運転、右側通行といったルール違反は事故の一因となります。危険ですので絶対にやめましょう。

自転車は道交法で車と仲間

自転車は手軽で便利な乗り物ですが、道路交通法では車と同じ仲間です。そのため、ルールの遵守とマナーの向上が事故を減らす鍵となり、交通安全意識の更なる向上や違反などへの適切な取り締まりが重要となるほか、人と車と自転車が安全に通行できる道路環境の整備も必要といえるでしょう。



右側通行



一時不停止

私はこう考える

自転車の安全利用

どうすれば自転車を安全に利用できるのか。日頃から、交通安全活動に力を注いでいる3人にお話を伺いました。



急がず慌てずに
思いやりの心を

蕨市交通安全
指導員協議会
しみず こういち
清水 弘一 会長
塚越1丁目

朝、立哨しょう指導をしていると多くの自転車利用者を見かけます。大半はルールを守っていますが、なかには右側通行をする人や一時停止をせずに、横断歩道を渡っている児童たちの列に割り込んでくる人も。朝は忙しいでしょうが、ゆとりを持って乗車してほしいですね。車、自転車、歩行者はみんな同じ道路を使っています。そのことを忘れずルールを守



り思いやりの心を持てば、事故がなくなるのではないのでしょうか。

指導員数は19人。登校時の立哨指導のほか交通安全教室などの啓発活動にも取り組む



大人がお手本に
家庭から教育を

蕨市交通安全
母の会
こばやし なちこ
小林 那智子 会長
中央3丁目

「交通安全は家庭から」を合い言葉に会員一同、活動に励んでいます。最近では、子どもにヘルメットをかぶらせて自転車に乗る保護者が増え、安全意識の高まりを感じますが、一方で、ベルを鳴らしながら、歩道を走行する人も見かけます。また、一部の高齢者や学生などが車道を逆走している姿も見られ、とても危険に感じています。まずは、私たち大人がルールを守り、お手本となるよう心がけていきたいものですね。



会員数は1,041人。高齢者宅への訪問などに加え、市や警察と道路診断(写真)も実施



事故の予防策に
定期的な点検を

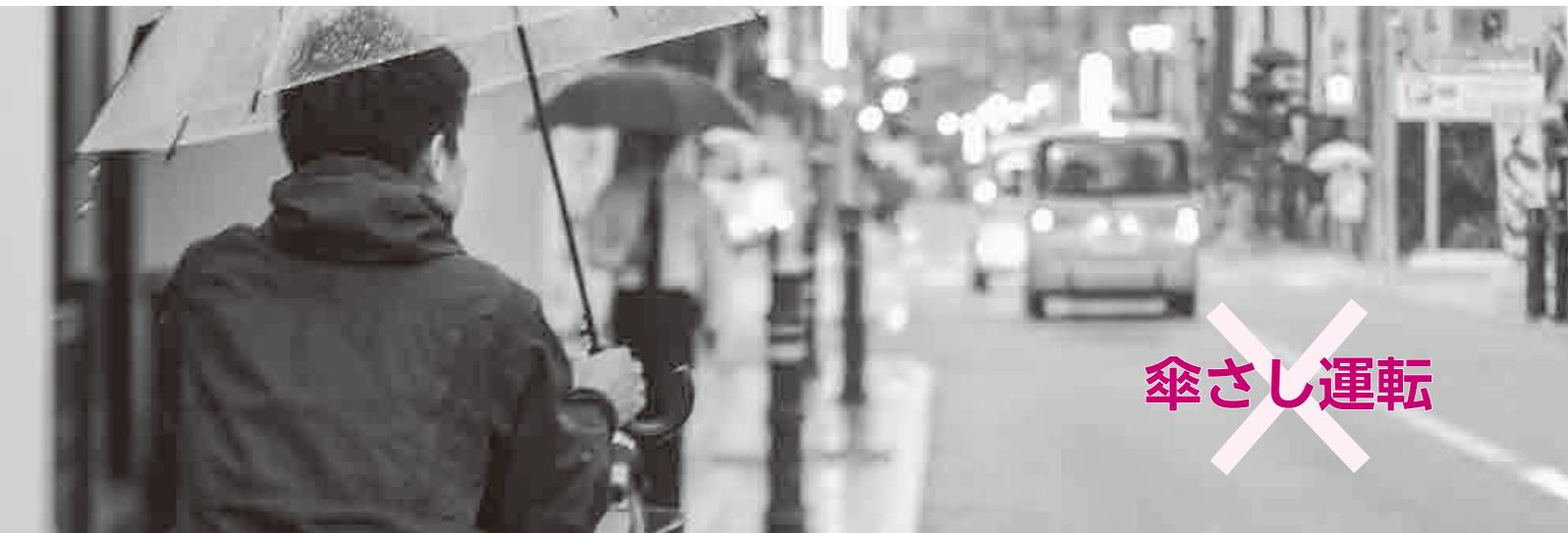
埼玉県自転車軽自動車商
協同組合蕨支部
みつあき てるだ
三國 昭 支部長
中央5丁目

事故の予防には、用途や体に合った自転車に乗ることと、定期的な点検も重要です。点検においてはタイヤの空気、ライトの点灯など自分でできる確認のほか、1年に1回はお店で見てもらったほうがいいでしょう。「普通に乘れるから問題ない」と考える人も多いと思いますが、例えば坂道がない蕨では、ブレーキの不具合に気づきにくいといったことも



あります。自転車もしだいに劣化していくので注意が必要です。

組合員数は13店舗。交通安全運動での自転車無料点検のほか、放置自転車対策も推進



傘さし運転



お巡りさんの掛け声とともに、左側通行を守って出発進行

もう一度確認しよう

事故を防ぐにはルールとマナーの徹底が第一です。中央東小学校で行われた自転車運転免許講習会の様子を通して、再確認してみましょう。

ルールとマナー

「左側通行」を守り出発しましょう。子どもや高齢者は、歩道のある道路では歩道を通行できますが、その際には、「歩行者優先で車道寄りを徐行」しましょう。

4年生を対象に行われた講習会。事前に映像学習やテストを行った児童たちは、標識や信号機などが設置された校庭で、正しい乗車ができるかお巡りさんや交通安全指導員に確認してもらいます。まず、お巡りさんから乗車前の点検、「ブタベルサハラ」(7ペー)を教えてもらいました。なにごとも準備はたいせつですね。

市内全4年生が学ぶ講習会



蕨警察署の協力の下、講習会を開催(10月20日)

講習会を取材していたPTA広報(保護者)のかたにお聞きしました

～ 交通標識を守って一時停止 ～



中央2丁目
くぼ まき
久保 真希 さん

車の通りが少ない交差点では、つい一時停止を怠りがちになってしまいます。この講習会を機に交差点では必ず止まり、安全確認することを家族で徹底します。



一時停止後、安全が確認できるところまで前に出ましょう

～ 出発前には前後左右を確認 ～



横や後ろからも車や歩行者などが来ないか確認しましょう

実際の道路はどこから車や歩行者が来るか分かりません。子どもは出発時、前しか目に入らないことも多いので今回あらためて学ぶことができてよかったです。



中央2丁目
わく ともこ
和久 智子 さん

みんな知ってる？乗車前の「ブタベルサハラ」

講習会で学んだ「ブタベルサハラ」を多くの人に知って
もらいたいと中央東小の児童2人が紹介してくれました。



乗る前の点検を
忘れずに。合い
言葉は「ブタ
ベルサハラ」だよ！

取得した免許証



さとうしゅうや
佐藤 秀哉 さん

家族にも教えたいな！

今日の講習会でお巡りさんから乗る前の準備や乗っているときの注意点などを教えてもらって、とても勉強になりました。「ブタベルサハラ」は、たいせつなのでお父さんやお母さんたちにも教えてあげたいな。

今後も気をつけます！

3年生のときに交通安全教室で「ブタベルサハラ」を習ったので、ふだんから心がけていました。自転車は便利な乗り物だけど、事故になることも多いと教えてもらったので、あらためて気をつけようと思いました。



みずの わかな
水野 若菜 さん



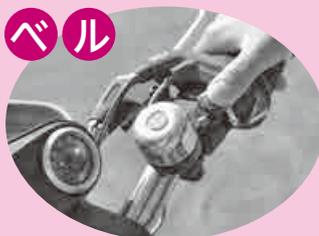
ブ レーキ

両方のブレーキがしっかりと
とききますか？



タ イヤ

タイヤは両手で押して空気
が入っているか確認!!



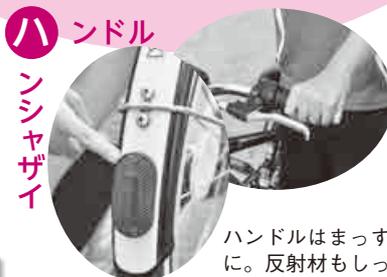
ベル

ベルもきちんと鳴るかどう
か確かめよう!!



サ ドル

サドルの高さは両足のつま先
がつかどうかが目安です



ハ ンドル

ン
シ
ャ
ザ
イ

ハンドルはまっすぐ
に。反射材もしっか
り付いてる？



ラ イト

ライトが明るくつくかどう
かの確認も忘れずに！

守ろう!!自転車安全利用五則

①自転車は、車道が原則、歩道は例外

自転車は、道路交通法上「車両」です

②車道は左側を通行

車道の左端に沿って走りましょう

③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者等は、歩道のある道路では歩道を通行することができます。歩行者の通行を妨げるおそれがあるときは一時停止をしましょう

④安全ルールを守る

○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止 ○夜間はライトを点灯 ○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

⑤子どもはヘルメットを着用

児童・幼児には乗車用ヘルメットをかぶらせましょう

しばらくすると信号機が見えてきました。赤のときはもちろん停止しますが、「青でも左右確認」を忘れずに。続いて一時停止の標識。「交差点では一時停止」をし、安全確認ができたなら進みましょう。自転車事故の多くは交差点やその付近で発生しているので要注意です。その後、障害物にも一度止まって安全を確認し、ゴールにたどり着いた児童たち。厳しいチェックに緊張していたようですが、みごと全員が免許を取得できました。交差点とマナーを守ることのたいせつさを再確認できる自転車運転免許講習会は、今年度、全7小学校の4年生が受講します。児童のみんなは学んだことを実際の道路でも実践してくれるでしょう。

ご利用ください!!

大荒田交通公園(南町2-3)



標識や信号機があり、小学3年生までは無料で自転車が借りられます(原則火～日曜日 午前10時～午後4時)。乗り方の練習ができ、楽しくルールも学べます。

備えあれば憂いなし! 万一のときのために準備をしておきましょう

自転車用ヘルメット



自転車同乗中の事故で子どもが頭部にけがを負う割合が高くなっています。万一に備えて、ヘルメットを着用しましょう。また、年齢別でみると自転車事故の割合の高い高齢者も日頃から着用しましょう

自転車保険(TSマーク制度)

青色マーク



賠償責任補償限度額が青色マークは1,000万円、赤色マークは5,000万円

赤色マーク



TSマーク(賠償内容が異なる2種類)とは、自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので傷害保険と賠償責任保険が1年間付帯されます。自転車安全整備店の看板のあるお店にご相談を

地域ぐるみで

更なる安全を求めて

自転車の安全利用をまちぐるみで促進させるため、今月から自転車安全利用条例を施行します。蕨の豊かな地域力が事故をなくし、まちに更なる安全の輪を広げていきます。



条例制定キャンペーンで啓発品を配布しながら、市民の皆さんに自転車の安全利用を呼びかける蕨市長(写真中央)と交通関係団体の皆さん(11月10日・蕨駅西口)

安全願う心が詰まった条例

今月から施行する自転車安全利用条例(右囲み・第1条)は、行政や市民、自転車利用者、事業者、関係団体などそれぞれの責務を定め、地域全体で自転車の更なる安全利用を進めていこうというものです。県内2市目となる本条例を取りまとめるに当たっては、市内の学校長や県警察官などで組織する蕨市交通安全対策協議会(会長・蕨市英雄市長)やパブリック・コメントでいただいた意見などを反映させてきました。更にここに至るまでには、現状からの脱却に向け、市で条例の制定を検討していたところ、交通関係団体をはじめとする市民の皆さんからも「更なる安全対策に向け、条例を」という熱心な声

蕨市自転車安全利用条例

(目的)
第1条 この条例は、自転車の安全な利用に関し、市、市民(市内に在勤し、又は在学する者を含む。)、自転車を利用する者(以下「自転車利用者」という。)、事業者及び関係団体の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、自転車の安全な利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、かつ、市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

※本条例の全文については市ホームページをご参照ください。詳細＝安全安心推進課(☎433・7755)

寄せられ、動きが加速したという背景もあります。こうした「まちの安全」を願う、多くの市民の心が詰まった自転車安全利用条例。その特徴は前述のとおり、それぞれの立場での役割などを明らかにしているほか、自転車損害保険等への加入やヘルメットの着用などを求める内容を盛り込んでいる点です。先月10日の制定キャンペーンでも、意欲的に周知活動を行う多くの市民の皆さんの姿がありました。その一人であり、また長年、交通安全活動に取り組む、交通安全母の会・小林会長(56)も「今こそ蕨の豊かな地域力を見せるべき。私たちのまちならば事故を減らして課題を解決できるはずです」と決意を新たにしていました。市では今後、この条例を契機に交通安全対策にいつそう力を入れ、市民の皆さんとともに安全安心なまちづくりを進めていきます。

ソフト・ハードの両面で進める自転車交通安全の取り組み

写真左＝錦町4丁目の市道の一部を、新たに自転車歩行者道として整備。今後も道路環境の整備に努めます。中央＝市独自のキャンペーンとして、毎年6月10日に早めのライト点灯を呼びかける啓発活動を実施。右＝定期的に朝の通勤・通学の時間帯に蕨警察署と連携しマナーアップ運動を展開。

自転車歩行者道の整備



6月10日「無灯火」ゼロの日



マナーアップ運動





課題が地域の絆とまちを育む

まちには、いつの時代も課題が存在します。ごみや放置自転車などさまざまな課題が今までもありました。しかし、私たちは地域全体で真摯に向き合い取り組むことで、解決へと導き、更にはその過程で絆とまちを育んできました。

この自転車の事故についても同じことがいえはるはず。安全を願う心を結集し、活動を続けていけば必ず道は開けます。そのためにも、まずは一人ひとりが「心の免許証」をしっかりと携帯し、ペダルを踏み込んでいきませんか。





織姫道中大行列

いにしえの歴史を現代に

第31回中仙道武州蕨宿

宿場まつり



風

情ある建物や蔵などが点在する中山道本町通り。その昔、江戸から京都までを結ぶ中山道の宿場町として蕨宿は栄えました。江戸日本橋から数えて2つ目となる蕨宿は、中山道本町通り約1^キにわたって形成され、大名や公家が休泊する本陣や、庶民が宿泊する旅籠^{はたご}などがあり、さまざまな人々が行き交う、まちの中心地でした。

そんな当時の面影を残す中山道本町通りを舞台に繰り広げられるのが、毎年、11月3日に開かれる「宿場まつり・織姫道中大行列」です。

江戸時代の大名行列をほうふつとさせるミス織姫の一行が姿を現すと、沿道からは大きな歓声が上がります。

今年で31回目を迎え、15万人の人数でにぎわったこのお祭りは、まちの歴史や文化を後世に語り継いでいこうと地域の皆さんが立ち上がり、手作りで始められたものです。

人と人を結び、人情を育んできた中仙道蕨宿。お祭りを通じて、その歴史に触れることで培われる郷土への愛着が、地域の絆を強くしています。



8



5



9



7



6



10



11

①⑤お祭りに華を添える今年度のミス織姫と宿場小町 ②④大名行列の再現で通りは江戸時代にタイムスリップ ③災害協定を結ぶ静岡県湖西市からは世界一大きい浜名湖大太鼓がお目見え ⑥軽快な動きを見せる毛槍奴4人衆 ⑦牛車を引く手にも力が入ります ⑧菅笠にかっぱをはおった旅がらす(左)と浪人 ⑨迫力の発砲音をとどろかせる鉄砲隊 ⑩甲冑を身にまとった勇ましい戦国武将 ⑪ゆるキャラたちも練り歩き ⑫昨年度のミス織姫と宿場小町も参加 ⑬沿道の人垣からは温かい声援も



13



12



地域の宝で愛される1本を

わらびりんごサイダー

—— 来夏機まつりで限定販売!!



シュワ〜っと、口の中ではじける刺激、喉を流れるときの心地よい爽快感一。今、全国各地で地元の特徴を生かした地サイダーが続々と誕生しています。蕨でもついに、地域の宝「わらびりんご」のサイダーが産声をあげようとしています。

一般的なリンゴサイダーよりも約3倍の酸味をきかせた「わらびりんごサイダー」(写真は商品イメージ)

日本一早く実がなることで知られるわらびりんご。錦町の故・吉澤正一さん(下囲み)が約20年がかりで研究・開発した極早生種です。「蕨でおいしいリンゴを作りたい」と情熱を注ぎながらも志半ばでこの世を去った吉澤さん。その思いが再び動き始めたのは市制施行50周年を迎えた平成21年のことです。記念事業の一つとして錦町コミュニティ委員会が中心となり、わらびりんごを地域の宝として広めようと取り組んだのがきっかけでした。以来、「わらびりんごの会」(平野明佑会長)を中心に普及活動が行われ、市内でリンゴの木が見られるようになりました。一方、農家の皆さんもまちおこしの一環として、生産に取り組み始めました。こうしたなか、現在、まちを挙げてのわらびりんごの商品開発が動き出しています。その第一弾がわらびりんごサイダーです。

商品化でまちの魅力を発信

第2回 商品化検討会

10月30日
蕨市役所・4階
第一委員会室



検討会は8月と10月に実施し、商品の方向性を話し合いました

わらびりんご物語

4月に咲く白い花



現在もリンゴ生誕の地で、ご家族の手によって引き継がれています。

故・吉澤正一さんが、リンゴ作りを始めたのは昭和38年のことです。家族で食べたリンゴの種を遊び心で庭にまくと約200本が発芽。年後に入った1本を育て始めると数年後に白い花が咲き、その2年後、梅雨も終わらぬ6月末にいびつな赤い実を付けました。「突然変異では」と、直感した吉澤さん。リンゴの栽培は未経験でしたが、「リンゴのない季節に病人や子どもにも新鮮なリンゴを」と、特産地を訪ね歩きながら多くの専門書などで研究を重ねました。そして、昭和56年、ついに市の名前を広めようと名付けた「わらび」が新品種登録されたのです。その後、木の根元に砂糖や塩をまくなどの試行錯誤を経て生まれたのが、「つゆばれ」です。その品種登録を心待ちにしていた平成3年、吉澤さんは交通事故で帰らぬ人に…。しかし、その尽きるこ



わらびりんご開発者の故・吉澤正一さん



わらびりんご公園(錦町6丁目)

「わらびりんご」見つけた!!

市制施行50周年を転機に地域へ広がりを見せたわらびりんご。地道な普及活動などにより、市内には約500本の木が植えられました。季節になると頬をポッと染めたような赤い実が顔を見せてくれます



市内の通り(北町5丁目)



さつき保育園(錦町2丁目)



蕨市役所(中央5丁目)



蕨市民公園(塚越5丁目)

わらびりんご商品化検討会(会員24人)のメンバーに聞きました!!

特産品として広めたい

わらびりんご待望の商品化。検討会でも活発な意見が飛び交うなど熱意の高さを感じています。サイダーの将来はきっと明るいはず。地域の宝を特産品として広めていきたいですね。



たかはし けいすけ
高橋 慶助さん
同検討会・会長

酸っぱさで気分も爽快

料理好きということもあり、以前から活用法に興味がありました。リンゴの特徴はなんといっても、その酸っぱさ。どこか懐かしい味と爽やかな香りで、リフレッシュできると思います。



しばと あきこ
柴戸 安希子さん
公募市民

親しまれるサイダーに

小ぶりかわいらしいリンゴをモチーフにした「わらびりんご姫」。その姿とは裏腹な刺激的な飲み口が魅力の1本です。キャラクターが目印となって親しんでもらえたらうれしいですね。



かげやま ひろし
影山 洋さん
キャラクター製作者



かまた みずほ
検討委員の鎌田瑞葉さん

今後のスケジュールです。お楽しみにね!

- 27年
- 6~7月
 - ・平成27年産のわらびりんごを収穫
 - ・3,000本を生産
- 8月
 - ・機まつりで限定販売(購入者にアンケートを実施予定)

サイダーで商品化するのには理由があります。現在、農家の皆さんがリンゴの生産に励んでいます。安定的な収穫にはまだ数年かかるため、少量で生産できる商品が条件であること、また近年、地域の活性化を後押しする存在として、各地で「地サイダー」が人気を誇っていることから、サイダーに白羽の矢が立ったのです。そこで市では、地域一体となつて開発を進めようと、農業・商業関係者や市民の皆さんなどを交えた「わらびりんご商品化検討会」を設置しました。検討会では試作品の試飲を行い、味の方向性をわらび

検討会でコンセプトが決定

りんごの特徴である酸味を強く出した「大人向けサイダー」に決定。更に「お酒で割ってもよし」、「蜂蜜を入れても飲みやすい」などの意見から、お勧めレシピも考案し、誰からも愛される1本を目指すことが示されました。また、ラベルはリンゴのキャラクター「わらびりんご姫」を全面に出した、かわいらしいデザインが採用されました。こうした検討会の様子は、新聞で紹介されるなど、気運が高まりつつあるわらびりんごサイダー。今後は来年収穫したリンゴを使って3000本を生産し、機まつりで限定販売をする予定です。地域の宝「わらびりんご」で作り上げる渾身の1本にご期待ください。

実を付ける時期・大きさ

6月	7月	8月	9月	10月	11月
わらび・つゆばれ 約150~200g?	つがる 約300g?	世界一 約500g?	ふじ 約300g?		

わらびりんごの特徴

「わらび」は、4月の下旬、桜と入れ替わるようにして白いかれんな花を咲かせます。「リンゴは秋に収穫」というそれまでの常識を打ち破り、満開から60日ほどで成熟する極早生種で、日本一早い6月下旬にはその実を赤く染めます。直径7センチ前後、重さ150~200gほどの小ぶりで酸味のきいたその味は、ジュースやジャム、アップルパイなどにして味わうのがいちばんです。その後、甘さを加えて品種改良した「つゆばれ」とともに、わらびりんごと呼ばれています。

商品化に関するお問い合わせは市役所2階・商工生活室(☎433-7750)へ



写真で振り返る わらびこの一年

2014

12月を迎え、今年も残すところあと僅かとなりました。そこで14、15日には、市政や催しなど、蕨のこの一年を写真とともに振り返ります。



⑤ふるさとわらび応援基金活用し
学校・保育園の備品拡充



①蕨市成年式



④市役所通り開通



蕨市PR大使委嘱式

②町亞聖さん(フリーアナウンサー) ⑦智内威雄さん(左手のピアニスト)



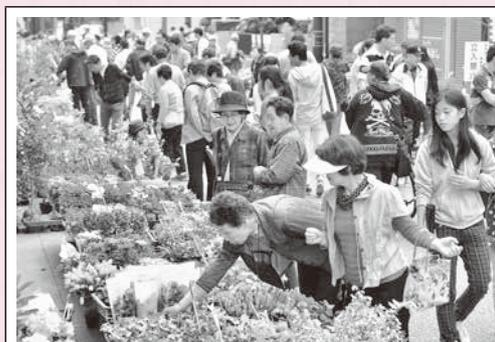
⑥わらび公園リニューアルオープン



③きれいになった中央東小体育館



⑨クリーンわらび市民運動



⑧苗木市

7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
12日 蕨市災害図上訓練	25日 平成26年度協働事業提案制度審査会開催	31日 クリーンわらび市民運動⑨	12日 わらび公園リニューアルオープン⑥	1日 消防救急デジタル無線運用開始	22日 消費生活展(〜23日)	12日 蕨市成年式①
5日 あさがお&ほおずき市(〜6日)	10日 自転車無灯火ゼロキャンペーン	1日 二中体育館改修工事着工	5日 学校図書館教育支援員の拡充へ	22日 桜のまち南町文化展(〜23日)	16日 わらび郷土かるた大会	12日 さつき・みどり保育園耐震補強工事着工
1日 フルオアシス蕨実施(〜9月30日)	21日 スクアード・ストリート交通安全教室(蕨高校)	3日 総合社会福祉センターまつり	17日 蕨市PR大使を委嘱 智内威雄さん⑦	4日 旭町公民館が優良公民館表彰受賞	8日 蕨市PR大使を委嘱 町亞聖さん②	8日 北町二丁目雨水調整池完成
12日 わらびまつり2014(〜13日)⑩	21日 自転車無灯火ゼロキャンペーン	18日 子育て支援フェスタ・こどもまつり	29日 苗木市・藤まつり⑧	12日 市役所通りが開通④	28日 公共施設にわらびりんごの苗木を植樹	13日 蕨市成年式①
	25日 平成26年度協働事業提案制度審査会開催	30日 蕨市花いっぱい運動推進功労者表彰	12日 市長タウンミーティング開催(〜19日)	31日 竜巻などの災害時における「埼玉県十町村被災者安心支援に関する基本協定」締結	26日 市内小・中学校施設の耐震補強工事が完了し耐震化率が100%に※写真は中央東小③	28日 歴史民俗資料館特別展「春の文化祭ーあとの山盛りー」(〜4月29日)
		31日 みんなで劇するわらび推進条例市民懇談会開催	12日 わらび公園リニューアルオープン⑥	2日 生涯学習推進事業「次世代へつなげよう生涯学習」	22日 消費生活展(〜23日)	12日 蕨市成年式①



⑪わらび機まつり



⑩わらてつまつり 2014



⑫音楽によるまちづくり
懇談会開催



⑭蕨市総合防災演習



⑬将来ビジョン推進に関する
官民連携協定を締結



⑮生涯学習フェスティバル

交流が更に深まったこの一年
来年も蕨の今を追い続けま



⑰ハロウィンワールド in WARABI



⑯合宿通学

12月	11月	10月	9月	8月	7月
24日 7日 1日	25日 22日 15日 12日 11日	26日 25日 22日 12日 10日 5日 2日 1日 30日	26日 13日 12日 7日	22日 17日 15日 11日 7日 4日	26日 22日
歴史民俗資料館空調設備改修工事着工予定 自転車安全利用条例施行 クリーンわらび市民運動(予定)	環境フォーラム 蕨市公募美術展覧会(11月16日) 蕨市アウトメディア推進大会 市民活動ネットワークフォーラム イクメン料理男子フットコンテスト表彰式 金婚式 蕨市市民会館(11月21日) 宿場まつり わらび健康まつり・歯ッピーわらび けやき文化賞・自治功労者表彰式	歴史的民権資料館「菅原源一郎 Waterlour Exhibition」(12月21日) ハロウィンワールド in WARABI 戦没者追悼式 歴史民俗資料館「菅原源一郎 Waterlour Exhibition」(12月21日) 歴史的民権資料館「菅原源一郎 Waterlour Exhibition」(12月21日) 戦没者追悼式 蕨市立小中学校俳句大会 塚越小学校プール改修工事着工 蕨市立小中学校俳句大会	お年寄りを敬う会 さくら保育園耐震補強工事着工 合宿通学(13日)※写真は北町地区 蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路整備ワークショップ開催 第2次蕨市立病院経営改革プラン策定 定期接種を拡充(高齢者肺炎球菌・水痘) 平成27年度協働事業提案制度審査会開催 蕨市文化祭(11月23日)	蕨市小学生将棋大会 「コンパクトシティ」将来ビジョンの推進に関する官民連携協定を締結(総合地所棟) 蕨市総合防災演習(北小学校) 全中学校トイレ改修工事着工 わらびりんご商品化検討会開催 生涯学習フェスティバル(11月9日)※写真は中央区 国際青年キャンプ(25日) 音楽によるまちづくり懇談会開催 断実施 空調設備改修工事基本設計等実施 全中学校防犯カメラシステム設置工事着工 北町公民館・北町児童館・市民体育館耐震診断実施 空調設備改修工事基本設計等実施 わらび機まつり(10日) 音楽によるまちづくり懇談会開催	公民館耐震補強設計委託(東・南公民館) 歴史民俗資料館平和祈念展「代用品」モノが語る戦時下の暮らし(9月28日) 第1回蕨市行政改革プランに係る市民懇談会開催 全中学校防犯カメラシステム設置工事着工 北町公民館・北町児童館・市民体育館耐震診断実施 空調設備改修工事基本設計等実施 わらび機まつり(10日) 音楽によるまちづくり懇談会開催



レポート そここが知りたい

<104>

市民意識調査の結果まとまる

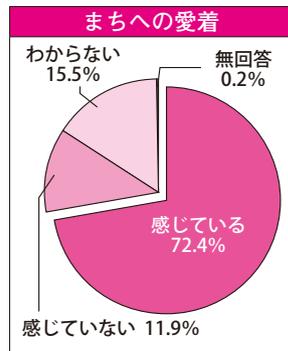
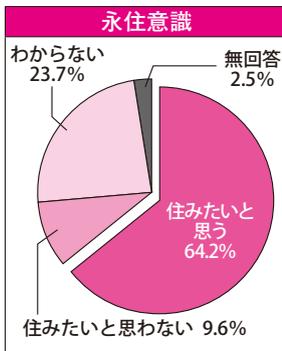
市では、市民の皆さんから市政に対するご意見を伺い、これからのまちづくりに生かしていこうと、毎年、市民意識調査を実施しています。この度、その結果がまとまりましたので、「まちへの愛着」のほか、主な調査項目の結果についてご紹介します。

ここ5年で最高水準 72%以上が蕨に愛着

今年度の市民意識調査では、市内在住の20歳以上の男女1000人を対象に調査票をお送りし、438人から回答をいただきました（右下囲み）。今回の調査項目は全部で28項目です。なお、調査内容は、今年度スタートした新たな市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」

将来ビジョンに沿って見直したものとなっています。そのうちの主な項目の結果は次のとおりです。

まず、「まちへの愛着」については、「感じている」と答えた人は72.4%で、ここ5年間で最も高い割合となりました（左下囲み参照）。愛着を感じる理由としては、「買い物など生活に便利だから」が64.4%、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が43.2%と続いています。「永住意識」については、これからも「住みたいと思う」が、前年比1.7ポイント増の64.2%となりました。また、その理由として、環境上の理由では、「住みなれているから」、生活上の理由では、「消費生活が便利だから」といった回答が1位となっています。



安全・安心の分野に多くの関心が集まる

次に、市の重点施策について、36項目それぞれの「重要度」と「満足度」をお聞きしました。「重要度」では、1位が「防犯対策」、2位が「消防・救急体制」、3位が「防災対策」と、

重点施策	
満足度	重要度
1位 消防・救急体制	1位 防犯対策
2位 コミュニティバスなどの公共交通の充実	2位 消防・救急体制
3位 防災対策	3位 防災対策
4位 上・下水道の整備、雨水対策	4位 交通安全対策
5位 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	5位 財政の健全化

安全・安心の分野への期待が高くなっています。また、「満足度」では、1位が「消防・救急体制」、2位が「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、3位が「防災対策」でした。

また、今回の調査では、「高齢期に大切なこと」について、「体力の増進や健康の保持」が昨年より4.2ポイント増の69.6%に上がったほか、「運動・スポーツを行う頻度」について、「週3日以上」が前年比4.4ポイント増の27.2%と、最も高くなったことなどから、健康への意識がいつそう高まっていることも分かりました。

皆さんの声生かしてより愛されるまちに

市では、こうした結果を今後の市政運営の参考に、日本一住みやすいまちを目指して、各施策の更なる充実を図っていきたいと考えています。

なお、今回の調査結果は、市役所1階市民活動推進室や各公民館、図書館のほか、市ホームページでも御覧いただけます。

問い合わせ 政策企画室 (☎433・7698)

平成26年度市民意識調査

調査期間：26年7月30日～8月31日
 主な調査内容：◎まちへの愛着
 ◎永住意識 ◎まちづくり
 ◎重点施策 など全28項目
 対象：市内在住の20歳以上の男女1,000人(無作為抽出)
 回収率：43.8%(438人)

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

(見に来ませんか)

▼児童合唱団「野うさぎ」コンサート 26日 午後2時 文化ホールくるる 800円(近藤・☎441・5659)

(仲間になりませんか)

▼認知症予防とストレッチ体操 月・水・金曜日(男女混合) 午前6時15分 火・木曜日(男性のみ) 午前7時 城址公園(平田・☎090・3131・9399)

▼楊名時(太極拳)

土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円(浦島・☎224・5915)

▼ここに体操(健康体操)

月曜日 午後1時半 北町公民館 月1500円(豊田・☎445・3858)

▼蕨北町サッカースポーツ少年団

土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円(2000円)(未就学児は年間1000円) 年中・小学生(小泉・☎090・4948・5936)

▼合気道無為会

月・木曜日 午後7時 市民体育館または第二中学校 月1000円(壺内・☎441・1072)

▼いきがい書道クラブ

第1・3土曜日 午前9時半 下蕨公民館 月1500円(山口・☎443・6181)

蕨市長選挙及び
蕨市議会議員選挙の実施方法に
係るアンケート調査の結果

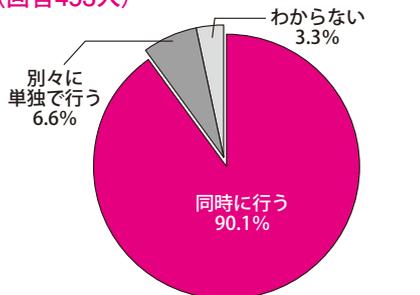
～「同時」を望むが9割に～

先月号の『広報蕨』の「レポートそこが知りたい」でご紹介したとおり、市では、来年実施が予定されている蕨市長選挙、蕨市議会議員選挙の実施方法について、先月7日から25日（消印有効）まで、20歳以上の市民の中から無作為に選んだ1,000人を対象に、アンケートを実施しました。その結果がまとまりましたのでご紹介します。

アンケート結果

【問】 来年実施を予定している蕨市長選挙及び蕨市議会議員選挙の実施方法についてお伺いします（○印は1つ）。

（回答453人）



1. 同時に進行 408人…90.1%
2. 別々に単独で行う 30人… 6.6%
3. わからない 15人… 3.3%

このアンケートでは、453人、率にして45.3%のかたから回答をいただいています。その結果は上記のとおり「同時に進行」が90.1%、「別々に単独で行う」が6.6%、「わからない」が3.3%という結果となり、9割の市民の皆さんが同時に選挙を実施することが望ましいと考えていることが分かりました。

市では、今回の市民アンケートの調査結果を踏まえ、来年の市長選挙・市議会議員選挙について、市民の皆さんの理解が得られる選挙となるよう、引き続き選挙管理委員会との協議を行っていきたく考えています。

問い合わせ=政策企画室 ☎433・7698

まちの話題

中央地区を中心として、10月25日に「親子でハロウィンを楽しもう!」、26日に「ハロウィンワールド・in WARABI」が開かれました。参加者は魔女やキャラクターといった思い思いの衣装でまちをパレードするなど、催しを通して、計2600人が交流を深めました。

11月2日、市民体育館で「わらび健康まつり・歯スピィわらび」が開かれ、860人が来場しました。催しでは歯磨き指導やフッ素塗布、骨密度測定などのほか、サツカー解説者・宮澤ミシエルさんの特別講演も行われ、地域ぐるみで健康意識の向上を図る一日となりました。

11月3日、市民会館で市の文化功労者に贈られる「けやき文化賞」の表彰が行われました。受賞者が池端俊策さん（中央在住）は日本を代表する脚本家で、市内でも演劇講座を開催し、その集大成として書きおろした作品を上演するなど、地域文化の向上に尽力されています。

市内そば組合加盟店や蕨市社会福祉協議会錦町支部などの協力で、おいしいてんぷらそばが楽しめる「善意のおそばプレゼント」。今年も、11月13日に松原会館で、60歳以上の市民に計250食がふるまわれ、訪れた皆さんにとって心も体も温まるひとときとなりました。

わらび市民ネット主催の「市民活動ネットワークフォーラム」が、11月22日、くるるで開かれました。同ネット登録者・団体による体操や編み物などの体験講座や展示、パネルディスカッションを実施。訪れた350人は市民活動への理解と地域の触れ合いを深めました。

華やかに仮装パレード



みんなで健康度アップ



池端氏がけやき賞を受賞



温かそばのおもてなし



つながる市民活動の輪



- ▼ねこのみみ(市民交流談話) 月1回木曜日 正午 市内500円 北田 ☎432・8501
- ▼ABCキッズ(幼児英会話) 月3回水曜日 午前10時 中央公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児△小沼 ☎090・9645・8812
- ▼コーロ・ダーマ(女声合唱) 水曜日 午前10時 中央公民館 月5000円 町田 ☎441・2456
- ▼南団基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 八井上 ☎442・0259
- ▼日帰り旅倶楽部 開運・池上七福神巡り 1月4日 1500円(別途昼食代) 八岩本 ☎090・3431・4295
- ▼江戸あるき 筑土八幡神社・江谷亀岡八幡神社など師走の神頼み 6日・11日・13日から選択 午前9時 蕨駅改札口集合 700円 富山 ☎090・2764・1342
- ▼Yキッズダンス(無料体験) 2日・9日・16日・23日 4歳以下 小学2年生 午後5時 小学3年生以上 午後6時 スタジオWARABAKU 谷内 ☎090・2492・3967
- ▼ダンスパーティー 3日・10日・18日 午後1時 文化ホールくるる 499円 犬塚 ☎441・7373
- ▼セピアのダンスパーティー 4日 午後1時15分 文化ホールくるる 600円 菊池 ☎080・8896・2975

空気が乾燥する季節 火災予防に ご協力ください

冬は空気が乾燥していて火災が発生しやすい季節です。消防本部でも、警戒活動などを通じて注意喚起を行っていますが、火災を防ぐには全員が危機意識を持たなければなりません。住環境や生活習慣などを再確認してご自身やご家族を守りましょう。

親と子の ニュースの 小窓



先月7日には県下一斉火災予防PRを実施

万全ですか？あなたの家庭の防火対策

ワラビ あー消防車が見回り活動をしているよ。
職員 こんばんは。冬は空気が乾燥していて、火災が発生しやすいから注意してくださいね。

ワラビ はい。寒くなると暖房も使うしね。
職員 特に石油ストーブを使用する前には必ず点検・整備が必要です。

お母さん うちでも、カーテンや衣類といった燃えやすい物の近くには絶対にストーブを置かないように気をつけているわ。
ワラビ ちゃんと消火器

お母さん この前は、イトーヨーカドー錦町店に小学生の防火ポスターが貼り出されていたわね。
ワラビ 入選しなかったけど、僕も描いたんだよ。
職員 先月7日から15日まで入選作品30点（下囲み）を展示したほか、初日にはちらしを配布して啓発活動も実施しました。
お母さん やはり一人ひ

も用意してあるんだ。
職員 すばらしい心がけですね。ところで、住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

お母さん たしか設置が義務付けられていますよね？問題ないはずだわ。
職員 設置する箇所は寝室と寝室のある階段です。

お母さん そうなの？ワラビ 帰ったら、すぐに確認しなきゃね。
職員 備え付けられていなかった場合は、ホームセンターなどで購入の上、必ず設置してくださいね。

防火への意識を見つめ直すきっかけに

とりの心がけがたいせつだということね。

職員 消防署や消防団でも、歳末特別警戒などで、地域全体の防火意識の向上を呼びかけていきます。
ワラビ ポスターも描いたし、僕も協力するよ。みんなで廠から火事をなくそうね。火の用心！

問い合わせ〓消防本部
予防課（☎44・0174）

<p>※ほか佳作10作品</p> <p>【消防長賞】 吉田 菜桜さん（南小6年） 寺園 爽良さん（塚越小6年）</p>	<p>銅賞 南小6年 須賀 遥夢さん</p>	<p>銀賞 北小4年 住田 圭翼さん</p>	<p>金賞 北小4年 古川 みらいさん</p>	<p>高学年の部（263点）</p>
<p>※ほか佳作10作品</p> <p>【消防長賞】 早川 悠斗さん（南小1年） 小川 宙音さん（塚越小3年）</p>	<p>銅賞 南小3年 松村 杏さん</p>	<p>銀賞 中央東小2年 橋本 聖莉奈さん</p>	<p>金賞 中央小3年 土屋 柚月さん</p>	<p>低学年の部（84点）</p>

ほっと・エッセイ 76

歯科口腔の健康づくりで
健康密度も日本一のまちへ

市長 頼高英雄

田歯科医師会のご協力で「健康まつり」と併せて「歯ッピーわらび」が開催され、私も初めて、舌圧測定というものを体験しましたが、舌圧（舌の力）の低下が物を飲み込む力の低下につながり、健康障害を引き起こす原因となるそうです。

いま、歯科口腔の健康が注目されています。以前から、8020運動といって、高齢になっても自分の歯でしっかりと自分で食べられることは、栄養面など健康によいとされてきました。加えて、近年では、歯科口腔の健康が、糖尿病をはじめとする生活習慣病や認知症の予防など、身体全体の健康につながることに心を集めています。

今年も11月には、蕨戸



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は4日です。ただし、1月は8日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



「いち押し」をポップで紹介 子どもクラブ

未来の1歩を開ききっかけづくりの場として、中学2年生を対象に実施している社会体験事業「ワーキングウィーク」11月5日～7日は第二中学校の生徒153人が市内の事業所などで職業体験を行いました。市立図書館では4人の生徒が図書整理や窓口業務のほか、思い思いに選んだ80冊の「おすすめ図書」コーナーの設置に挑戦。「多くの人が手にしてくれるように」と、紹介文やイラストが満載のお手製ポップで飾りつけました。来館者に好評のこのコーナーは今月7日まで。ぜひご利用ください。

わが家のアイドル



みつるちゃん
美鶴ちゃん
(2歳)

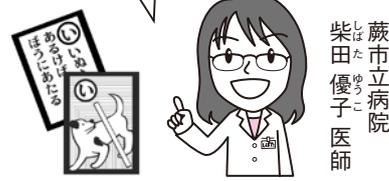
藤井 康弘さん
恵理子さんの
長女
中央7丁目

-512-

「電車や働く車が大好きな美鶴。消防車や救急車のサイレンが聞こえると、「ピーポー」と、すぐに窓に駆け寄っていきま

みで葉っぱのお手入れをしようとしてくれたんですよ。その姿に成長を実感でき、私もうれしく思いました。これからのいろんなことに挑戦して、自分の考えをしっかりと持った子に育ってほしいです」と、母親の恵理子さん。

DE かるた ヘルスケア



蕨市立病院
柴田 優子 医師

ま 満腹中枢
食事をとることでレプチンというホルモンが満腹中枢に働き、「必要量を食べました。おなかがいっぱいです」と認識し、食

欲にブレーキをかけます。満腹中枢が働くまでには、食べ始めてから20分ほどかかるため、味わいながらゆっくり食べることがもつともたいせつです。早食いをすると、満腹中枢が作動しないうちについつい食べ過ぎてしまうこととなります。また、太り気味のかたも、レプチンが満腹中枢を正常に作用させず、いつまでも満腹感が得られにくい体質になってしまいます。柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



鋭い刻み突きが持ち味の山口さん

輝いています

関東中学生空手道選手権大会 組手の部準優勝

ひと

山口 健太 さん

己の拳を磨きいつか世界へ

「空

手は努力を重ねた分だけ強くなれるし、勝つ

度に成長できるんです」とその魅力を語るのは、第一中学校の3年生・山口健太さん（15歳・南町1丁目）。10月5日に開催された「関東中学生空手道選手権大会」では、組手の個人の部で準優勝、団体の部では優勝に輝きました。

もともと運動が好きだった山口さんが空手の道に進んだのは小学校へ入学した頃です。道場生募集のちらしを見て体験入門すると、心も体も鍛えながら気持ちのよい汗を流せるこの武道のとりこに。道場での週3日、1日2時間半の稽古に加え、時間を見つけては弟・隼人さんとの組手や自

主トレーニングを重ねるほどのめり込んでいきました。

それでも、大会でなかなか勝ち進むことができず、伸び悩んでいた山口さん。そうしたなか、基本を徹底的に再確認しようとして、中学校への入学を機に、映像などを通じて自分の組手を見直すことにしました。同時に強豪選手の動きを研究、吸収して習得したのが、スピード豊かな刻み突きです。飛び込みながら突きを繰り返すこの技を武器に、ポイントを稼げるようになった山口さんは、間合いの取り方や試合の流れもコントロール

できるようになりました。そうしてめきめきと頭角を現し、中学1年生のときに県大会で個人ベスト16、2年生で同ベスト8。そして、3年生となった今年は、6月に行われた同大会で参加選手109人の頂点に立ちました。その後、県代表として臨んだ全国大会ではベスト16、関東大会では個人での準優勝に加え、チームを団体優勝に導いたのです。

「高校では全国の頂を目指し、将来は日の丸を背負って世界の舞台上で活躍したい」と、力強く目標を語る山口さん。空手の道を極める日を夢見て、今日も突き進んでいきます。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!! みんなの力

～NPO法人ふうせん～

託児や催しで広げたい
楽しい育児応援する輪

メッセージ



そのかわ やすこ 代表
園川 泰子

「ふうせん」は、子育て世代にとつて、より暮らしやすい環境づくりを支援しようと、会員41人でさまざまな取り組みを進めている特定非営利活動法人です。平成18年の設立当時から活動の中心となつているのが、年間300件以上請け負っている、市内の催しなどでの集団託児です。また、ママたちがいきいきと過ごすための託児付き講座を企画・運営しているほか、今年度

このコラムでは、わらび ネットワークステーション (☎45・7256)の市民活動登録団体を紹介しています。



詳しくは